

Minami Kyushu University Syllabus

シラバス年度	2026年度	開講キャンパス		都城キャンパス		開設学科		環境園芸学科		
科目名称	園芸生産環境実験実習Ⅰ							授業形態	実習	
科目コード	260001	単位数	2単位	配当学年	2	実務経験教員			アクティブ ラーニング	○
担当教員名	前田 隆昭、廣瀬 大介、長江 嗣朗、山口 健一、陳 蘭庄								ICT活用	
授業概要	本実験実習は、花卉、蔬菜、果樹、作物及び環境保全園芸の5分野で構成している。受講者は各分野をローテーションすることにより園芸作物や主要作物の播種～収穫までの一連の栽培管理作業を学んでいくことを目的としています【知識・技能の育成】。									
関連する科目	園芸生産環境実験実習Ⅱ									
授業の進め方 と方法	実習前に各回の実習について、説明を行ったうえで、実習を行っていく【知識・技能の育成】。随時、プリントなども配布する。									
授業計画 【第1回】	以下の項目について、30コマ（2コマ×15回）の実験実習をフィールド教育センター、実験室および学外フィールドで行う（順不同）。 栽培技術1. 作物の播種と畝立て（廣瀬大介） 作物の播種と畝立てについて学習する。									
授業計画 【第2回】	栽培技術2. 麦類の収穫と調整（廣瀬大介） 麦類の収穫と調整方法について学習する。									
授業計画 【第3回】	栽培技術3. 作物の定植（廣瀬大介） 作物の定植方法について学習する。									
授業計画 【第4回】	栽培技術4. （陳 蘭庄） 人工授粉による種子採取プロセスの実践について学習する。									
授業計画 【第5回】	栽培技術5. （陳 蘭庄） 野菜の栽培技術・水肥管理・環境制御の実践について学習する。									
授業計画 【第6回】	栽培技術6. （陳 蘭庄） 野菜の養液栽培システムの実証・実践について学習する。									
授業計画 【第7回】	栽培技術7. （山口健一） 土づくりと環境保全について学習する。									
授業計画 【第8回】	栽培技術8. （山口健一） 施肥と環境保全について学習する。									
授業計画 【第9回】	栽培技術9. （山口健一） 病害虫・雑草防除と環境保全について学習する。									
授業計画 【第10回】	栽培技術10. （長江嗣朗） 花卉を種子繁殖し、苗木として生産する。また、培養して育てた花卉も順化して育てる。									

授業計画 【第11回】	栽培技術11.（長江嗣朗） 3号ポットで栽培されている花苗を鉢替えし、市場に流通できるレベルの鉢物生産を行う。
授業計画 【第12回】	栽培技術12.（長江嗣朗） 花卉では特に、さまざまな性質の用土を利用する。多くの種類の用土の特徴を理解し、実際にそれらの用土を用いて植物栽培を行う。
授業計画 【第13回】	栽培技術13.（前田隆昭） 果樹苗木の植え替えについて学習する。
授業計画 【第14回】	栽培技術14.（前田隆昭） 土づくり・施肥について学習する。
授業計画 【第15回】	栽培技術15.（前田隆昭） 果樹のハウス栽培の管理について学習する。
授業の到達目標	園芸植物（蔬菜、果樹、花卉）及び主要作物を利用して、基本的な栽培管理方法を学習する【知識・技能の育成】。
学位授与の方針 （DP）との関連	3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(1)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(2)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(3)
授業時間外学習【予習】	第1回目の授業で実験実習の内容を示すので、各自でその内容について予め毎回予習を行う。1時間程度。
授業時間外学習【復習】	授業ではレポートの提出を課すので、受講者各自で毎回復習してレポートを完成させる。1時間程度。
課題に対する フィードバック	提出したレポートについては、担当教員から解説を行う。
評価方法・基準	各回毎にレポート及び実習態度・技術習熟度等で採点し、全授業を通して100点満点で評価する。
テキスト	授業（実験項目）内容に関する資料を随時配布する。
参考書	関連する参考書・資料を適宜紹介する。
備考	